

RPPC メールマガジン 第 827 号

リサイクルポート推進協議会（令和 2 年 6 月 10 日）

■事務局からのお知らせ

令和 2 年度定時総会（書面）については、現在書面にて議案審議中です。

（スケジュール）

- | | |
|---------------------------|------------|
| ・ 議案書等の発送 | ： 完了 |
| ・ 質問受付締切（メールによる） | ： 6 月 11 日 |
| ・ 議案書回答締切（メールまたは返信用封筒による） | ： 6 月 17 日 |
| ・ 議案書承認可否取りまとめ | ： 6 月 18 日 |
| ・ 会員へ書面議決結果周知 | ： 6 月 19 日 |

注）議案書等総会議案書等については、当協議会 HP に掲載してありますので、ダウンロードも可能です。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 港湾の防災・減災対策まとめ、港湾 B C P 策定指針も改訂

国土交通省港湾局は 5 月 29 日、港湾等に来襲する想定を超えた高潮・高波・暴風への対策等を検討してきた有識者委員会の最終とりまとめ結果を公表した。またあわせて「港湾の事業継続計画（港湾 B C P）策定ガイドライン」（改訂版）を策定し、公表した。

最終とりまとめでは、自助・共助・公助が一体となった総合的な防災・減災対策を推進すべきとし、広範囲への浸水に対応する取組みとして、設計沖波の更新・更新時期のルール化や耐波性能の照査、緊急性の高い施設や地盤の嵩上げ、補強等を実施すべきと指摘。このほか改訂したガイドラインを踏まえた新たな考えに基づいた港湾 B C P の策定、防衛設備の設置等を進めるべきとの方向性を示している。

2.港湾局、港湾の走錨事故防止対策。港湾技術基準告示を一部改正

国土交通省港湾局は6月1日、昨年9月の台風第15号の影響により横浜港南本牧はま道路（臨港交通施設）で起きた船舶の衝突事故（走錨）を踏まえ、今後の再発防止の観点から「港湾の施設の技術上の基準の細目を定める告示」の一部改正を行った。橋げたへの防衝設備を設置する内容等を追加している。

横浜港南本牧は道路では周辺に錨泊していた貨物船が流され、橋梁の橋げたに衝突し、甚大な損傷事案が発生した。このため、港湾局では発災後、海上保安庁や海事局と連携し、ハード及びソフトの対策を検討してきた。

3.北九州港新門司沖土砂処分場2期、WTO3件の築造工事

九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所は、新門司沖土砂処分場（Ⅱ期）の整備事業で、護岸築造工事の手続きを開始した。東南角護岸を中心とする総延長約480m区間を対象に、①～③の3件に分け、一括公告、審査方式で発注する。いずれも6・9億円以上15億円未満のWTO案件。

工事内容は基礎マウンドの築造、方塊ブロックによる護岸本体、上部工まで消波工を除き完成断面に仕上げる。同処分場整備の令和2年度工事ではこのほか、南護岸、並びに東護岸を対象とする3件の地盤改良工事（床掘、置換）も予定している。南護岸の地盤改良は現在手続き中。

4.名古屋港ポートアイランドの沈殿土砂減容化へ地盤改良

中部地方整備局名古屋港湾事務所は、名古屋港第3ポートアイランド西地区の遊水池に溜まっている沈殿土砂の減容化工事を実施する。遊水地内の沈殿土砂が増え、このままでは遊水池機能が低下する可能性があるため、内部にプラスチックボードドレーンを打って軟泥の沈下を促し、遊水容量を増やす。また同遊水池の余水吐の老朽化も進行しているため余水吐の補修も行う。同工事はWTO対応として現在手続き中で、今年度に減容化、並びに余水吐修復を終える。

沈殿土砂の地盤改良を行うのは遊水地区内の400m×216mの範囲（面積約8・6ha）で、長さ16mのプラスチックボードドレーンを深度マイナス12mまで、2万6000本打設する。また水平ドレーンを約4万8000m設置する。

【港湾空港タイムス 06 月 08 日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：丸岡 裕人 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください